

基督教学研究

第 41 号

芦名定道 名誉教授退任記念号

- キリスト教学を問う 芦名定道 ... 1
- 人類に対する神の怒り
— 初期ラテン教父における議論の位置付け —
..... 津田謙治 ... 17
- 高倉徳太郎の『福音的キリスト教』と自由主義神学批判
..... 岩野祐介 ... 35
- テイリッヒ『組織神学』における聖霊キリスト論の位置づけ
..... 鬼頭葉子 ... 59
- エルンスト・トレルチの宗教社会主義 小柳敦史 ... 79
- 芦名武雄の神道理解
— 神官出身キリスト者の戦時下における宗教思想を中心に —
..... 洪伊杓 ... 101
- 解釈学的宗教思想のための試論 岡田勇督 ... 127

彙報

彙 報

A. 2021 年度キリスト教学専修講義題目

津田 謙 治 准教授

系共通講義： 「キリスト教学講義 A、B」

特殊講義： 「初期キリスト教教理史Ⅱ/A、Ⅱ/B」

演習： 「教父学の古典的研究を読むⅡ/A、Ⅱ/B (A. v. Harnack, *Marcion*, 1923)」

演習： 「キリスト教思想の諸問題」(大学院生の研究発表)

外国文献研究： 「21 世紀における教父研究 (B. B-Aschkelony (eds.), *Patristic Studies in the Twenty-First Century*, 2015)」

洪 伊 杓 講師

特殊講義： 「『日本型オリエンタリズム』とキリスト教」

杉村 靖彦 講師

特殊講義： 「『証言』論再考 — その宗教哲学的射程をめぐって、西谷宗教哲学の研究」

鬼頭 葉子 講師

特殊講義： 「近現代キリスト教思想(宗教改革以降のキリスト教神学と哲学)」

平出貴大 講師・渡邊蘭子 講師

演習： 「宗教改革の根本問題」

河崎 靖 講師

演習： 「ボンヘッファーのテキストを読む」

手島 勲 矢 講師

語学： 「古典ヘブライ語初級・中級文法」

B. 2021 年度論文題目（2022 年 3 月）

卒業論文

- 今村 雛 「アウグスティヌスによる占星術批判について」
太田 颯馬 「回心研究 — ルターを例に」
道田 蒼人 「エリアーデと宗教認知科学（CSR）における二つの「普遍主義」— 宗教概念批判以後の宗教的人間像の探究」
村上 遼 「ウェアレンティノス派における人間論 — エイレナイオス『異端反駁』の議論を中心に」

修士論文

- 塩川 礼佳 「南原繁のカント解釈 — 「価値並行論」のアトリエを訪ねる」
岩澤 武 「E. トレルチにおける「神秘主義」類型の意義 — 「キリスト教の諸教会と諸集団の社会教説」を中心に」
メナチェ・D・アンドレス
「17 世紀の排耶書におけるキリシタン排除と「内部性」の問題 — 雪窓宗崔『対治邪執論』を中心に」

課程博士論文

- 岡田 勇督 「ガダマー解釈学と宗教思想 — 解釈における「一と多」の構造を手がかりに」

C. 2021 年度学術大会

第 26 回学術大会

2021 年 7 月 17 日（土）オンライン

- 南 裕 貴 子 「フライタークの伝道の神学における伝道の目的としての新しい人間」
谷 塚 巖 「キルケゴールのレトリックと倫理」

第 27 回学術大会

2021 年 7 月 17 日（土）オンライン

- 森 喜 啓 一 「ピーター・L・バーガー初期の宗教世俗化論における神義論の問題」
芦 名 定 道 「キリスト教学を問う」

京都大学基督教学会規約

1. 本会は京都大学基督教学会と称し、事務局を京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科キリスト教学研究室に置く。
2. 本会は基督教学研究の進展を目的とする。
3. 本会は前条の目的を達成するために以下の事業を行う。
 - (1) 研究集会、講演会などの開催
 - (2) 学会誌『基督教学研究』の発行
 - (3) 内外の研究機関及び研究者との相互交流
 - (4) その他の必要な事業
4. 本会は基督教学の研究に従事する者、もしくは本会の趣旨に賛同する者をもって構成する。
 - (1) 一般会員
 - (2) 学生会員 大学院学生及びこれに準ずる者。
 - (3) 会友 本会の趣旨に賛同するもので、研究集会での発表の機会と学会誌の配布を受けられることができる。
会友希望者は、委員会の承認により会友となることができる。2年以上会友であった者で、会員になることを希望する者は、会員2名の推薦により委員会の議を経て、総会で承認を受けられるものとする。
5. 本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。
会費として、会員は年5,000円、会友は年3,000円を納めるものとする。
6. 本会の運営のために次の委員を置く。
 - (1) 代表者（1名）
 - (2) 委員（若干名）
 - (3) 監事（1名）
7. 本会は毎年総会を開き、会計及び一般報告を行い、必要事項を協議する。
8. 本規約は運営委員会の発議に基づき、総会において変更することができる。

附則

本規約は1998年12月施行、2008年7月改訂。

運営委員会

代表者：宮庄哲夫

委員：片柳榮一、勝村弘也、芦名定道、武藤慎一、岩城 聡、岩野祐介、津田謙治、
土井健司、近藤 剛、鬼頭葉子

監事：笠井恵二

執筆者

芦名定道	関西学院大学教授
津田謙治	京都大学准教授
岩野祐介	関西学院大学教授
鬼頭葉子	同志社大学准教授
小柳敦史	北海学園大学准教授
洪伊杓	山梨英和大学准教授
岡田勇督	Halle-Wittenberg 大学留学中

『基督教学研究』投稿規定

1. 寄稿者は本学会員にかぎる。
2. 内容は未発表の学術論文であること。採否ならびに掲載の時期は、査読委員による査読の報告に基づき、編集委員会が決定する。
3. 寄稿原稿は、論文については400字詰原稿用紙40～50枚（註・図表などを含む）相当、研究については30枚相当とする。
4. 寄稿原稿の執筆細目および査読審査規定については、別途、原稿執筆要項等の内規にて定めることとする。
5. 寄稿原稿には、欧文タイトル、執筆者欧文氏名を付記すること。
6. 原稿が採用された場合、執筆者には抜刷30部を贈呈する。

（本規定は2000年12月16日から施行する）

第四十一号編集実務委員会

宮 庄 哲 夫
片 柳 榮 一
勝 村 弘 也
芦 名 定 道
武 藤 慎 一
岩 城 聰
岩 野 祐 介
津 田 謙 治
土 井 健 司
近 藤 剛
鬼 頭 葉 子

2022年3月21日印刷
2022年3月31日発行

定価 1,500 円

発行者 京都大学基督教学会
京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科
キリスト教学研究室内

発行人 宮 庄 哲 夫

発売元 (株) 一 麦 出 版 社
札幌市南区北ノ沢3丁目4-10

印刷所 (株) ア イ ワ ー ド

本誌の御注文は、最寄のキリスト教書店、もしくは、右記、京都大学基督教学会（振替01030-5-7207）へ、定価1,500円（送料当方負担）を添えてお申込みください。

『基督教学研究』バックナンバー公開に関しまして

本学会誌『基督教学研究』は、1978年に創刊して以来、古代から現代までの様々な分野におけるキリスト教学に関連する諸論考を毎年刊行して参りました。今後も紙媒体として順次、学会誌を刊行していく予定ですが、研究の成果を幅広くアクセスしやすくするために、バックナンバーについてはオンライン化を進めることが学会運営委員会で検討されています。

学会誌のオンライン化に関しては、京都大学学術情報リポジトリ「紅」でのオープンアクセスによる公開を検討しており、本会の予算を一部使用することによって、2021年度よりオンライン化の作業を進めたいと考えておりますが、インターネット上で公開するにあたり、これまで論考を寄稿して下さった著作権者の承諾が必要となります。しかしながら、『基督教学研究』創刊号以来の著作権者は多数にのぼり、連絡先が不明であったり、また様々な理由により連絡を取ることが困難であったりする状況が少なくありません。

このような状況を鑑み、運営委員会では、これまで『基督教学研究』にて論考を執筆された著作権者に対し、著作権委譲に関わる経緯と内容を本ホームページ上で公表し、著作権を京都大学基督教学会への委譲をお願いすることに致しました。

もちろん、著作権者の方々の中には、様々な事情により、公開をご承認しかねるという場合もあるかと存じます。その場合は、2021年12月末日までに、その旨を本学会事務局まで申し出て頂ければ、当該論考に関しましてはオンライン化を中止致します。上記の期日までにお申し出のなかった場合、ご承認頂いたものと見なして公開の手続きを進め頂きたいと存じます。また、期日後に初めて本告知を見られて、公開を停止したい場合も、本学会事務局までご連絡頂けましたら、停止の手続きを進めさせていただきます。

以上

連絡先：

京都大学基督教学会事務局

〒606-8501 京都市左京区吉田本町京都大学文学部内 キリスト教学
研究室気付

Scskyoto@gmail.com

JOURNAL
OF
CHRISTIAN STUDIES
KIRISUTOKYOGAKU KENKYU

Vol. 41

3, 2022

Studies Dedicated to Professor Emeritus ASHINA Sadamichi

Contents

Christian Studies as a Question ASHINA Sadamichi

God's Wrath Against Mankind:

The Arguments in the Early Latin Fathers TSUDA Kenji

TAKAKURA Tokutaro's "Evangelistic Christianity
(Fukuin-teki Kirisuto-kyo)" and his Criticism

on liberal Theology IWANO Yusuke

Spirit-Christology in Paul Tillich's Systematic Theology

..... KITOU Youko

Ernst Troeltschs "religiöser Sozialismus" KOYANAGI Atsushi

Takeo Ashina's Understanding of Shintoism:

Focusing on the Asia-Pacific War

(Fifteen-year's war) Period HONG Yi Pyo

An Essay on a Hermeneutic Philosophy of Religion

..... OKADA Yusuke

THE SOCIETY OF CHRISTIAN STUDIES
KYOTO UNIVERSITY

Kyoto Japan